



2018年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年5月15日

上場会社名 株式会社オプティマスグループ 上場取引所 東
 コード番号 9268 URL http://www.optimusgroup.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 信哉
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 嘉悦 清隆 TEL 03 (3456) 1764
 定時株主総会開催予定日 2018年6月27日 配当支払開始予定日 2018年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2018年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2018年3月期の連結業績（2017年4月1日～2018年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	26,132	△3.5	1,210	△23.2	1,330	△31.6	909	△33.5
2017年3月期	27,092	△10.9	1,576	△34.9	1,944	35.7	1,367	48.4

（注）包括利益 2018年3月期 772百万円（△33.1%） 2017年3月期 1,154百万円（94.6%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年3月期	178.58	174.66	10.3	6.7	4.6
2017年3月期	272.28	—	17.8	10.7	5.8

（参考）持分法投資損益 2018年3月期 11百万円 2017年3月期 13百万円

（注）1. 当社は、2017年7月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後当期純利益」を算定しております。
 2. 当社株式は、2017年12月26日に東京証券取引所市場第2部に上場したため、2018年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2017年12月26日から2018年3月31日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	20,736	9,471	45.7	1,789.48
2017年3月期	18,890	8,248	43.7	1,642.38

（参考）自己資本 2018年3月期 9,471百万円 2017年3月期 8,248百万円

（注）当社は、2017年7月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年3月期	△522	△802	1,060	4,195
2017年3月期	336	△217	171	4,463

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2018年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00	137	14.6	1.5
2019年3月期（予想）	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日として定めておりますが、現時点では2019年3月期にかかる配当予想額は未定であります。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,169	11.6	1,588	31.2	1,610	21.1	1,028	13.1	194.22

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期	5,293,125株	2017年3月期	5,022,525株
② 期末自己株式数	2018年3月期	33株	2017年3月期	—株
③ 期中平均株式数	2018年3月期	5,094,433株	2017年3月期	5,022,525株

(注) 当社は、2017年7月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(4) 配当の状況

当社は、中間配当及び期末配当の年2回を基本とし当面は連結配当性向30%程度を目安とする方針であり、2018年3月期の期末配当については、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益の2分の1をもとに1株当たり配当金を決定しております

(参考) 個別業績の概要

1. 2018年3月期の個別業績（2017年4月1日～2018年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	1,251	△6.4	147	△47.3	217	△38.0	216	△77.5
2017年3月期	1,337	12.9	279	△53.1	350	△31.6	960	88.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期	42.57	41.64
2017年3月期	191.31	—

(注) 1. 当社は、2017年7月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後当期純利益」を算定しております。

2. 当社株式は、2017年12月26日に東京証券取引所市場第2部に上場したため、2018年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2017年12月26日から2018年3月31日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	14,504	6,577	45.4	1,242.63
2017年3月期	13,554	5,909	43.6	1,176.70

(参考) 自己資本 2018年3月期 6,577百万円 2017年3月期 5,909百万円

(注) 当社は、2017年7月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は当事業年度において、関係会社からの受取配当金が減少したことにより営業収益が減少しております。また、前事業年度に特別利益に計上した関係会社清算益が当事業年度には発生しなかったこと等により前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2018年6月5日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、投資と貿易の拡大が続き、緩やかに成長しております。一方で、米国新政権による通商問題などの政策動向、地政学リスクの上昇等から世界経済は先行き不透明な状況で推移しました。

規模が世界最大のアメリカ経済は、個人消費や設備投資の増加により、景気が着実に回復しております。中国経済は、成長率が安定的に推移し景気が持ち直しており、貿易依存度の高いニュージーランド経済にも好影響を与えております。ニュージーランド経済は、政策金利1.75%と最低水準にあり、移民の流入増加や民間消費の堅調さを背景に景気は底堅く推移しました。

このような経済状況のもとで、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)における中核事業会社である(株)日貿において、1台当たりの販売単価は、前年同期比で上昇いたしました。その一方、2018年2月にニュージーランドのオークランドに入港した日本発の自動車運搬船においてカメムシ(害虫指定のクサギカメムシ)が発見され、車両の荷揚げが制限された(以下、「カメムシ問題」と称します。)影響により、販売台数は37,089台となり前年同期比10.9%減少しました。さらに、物流事業の中核事業子会社Dolphin Shipping Australia Pty Ltdにおいて、セグメント売上高の大部分を占めるニュージーランド向けの輸送台数は32,352台となり前年同期比14.9%減少しました。

このような状況のもとで、売上高及び営業利益は前年比で減少しております。

また、前連結会計年度に、主に海外子会社等で発生していた為替差益が3億31百万円減少したことにより経常利益が減少しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高261億32百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益12億10百万円(同23.2%減)、経常利益は13億30百万円(同31.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益9億9百万円(同33.5%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(貿易)

貿易セグメントにおきましては、上述の「カメムシ問題」の影響等により、販売単価は上昇したものの販売台数が減少いたしました。この結果、貿易事業の売上高は146億71百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益は87百万円(同76.8%減)となりました。

(物流)

物流セグメントにおきましては、「カメムシ問題」の影響等により、ニュージーランド向けの輸送台数が減少いたしました。この結果、物流事業の売上高は35億18百万円(前年同期比17.7%減)、営業利益は6億11百万円(同22.8%減)となりました。

(サービス)

サービスセグメントにおきましては、「SmartBuy」(注)による販売及び個人向け自動車ローンの新規を含めた貸出件数が増加いたしました。この結果、サービス事業の売上高は46億84百万円(前年同期比26.7%増)、営業利益は35百万円(前年同期は62百万円の損失)となりました。

(検査)

検査セグメントにおきましては、「カメムシ問題」の影響等により、バイオ検査(検疫)件数は105,229件(前年同期比2.9%減)となりました。

この結果、検査セグメントの売上高は32億58百万円(同0.7%減)、営業利益は5億74百万円(同8.3%減)となりました。

(注)「SmartBuy」:当社子会社のTrade Cars Limitedが同じく当社子会社の(株)日貿から中古自動車を仕入れ、船舶輸送、輸入手続、コンプライアンスセンター(認証検査事業者)への配送、ニュージーランドにおける輸入車検等を組み合わせてパッケージとして販売する形態

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.9%増加し、165億7百万円となりました。これは、主に売掛金が8億60百万円、たな卸資産が1億85百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて17.6%増加し、42億28百万円となりました。これは、主に有形固定資産が6億30百万円増加した一方、投資その他の資産が3百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9.8%増加し、207億36百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて30.0%増加し、107億3百万円となりました。これは、主に短期借入金が16億10百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて76.7%減少し、5億60百万円となりました。これは、主に長期借入金が18億12百万円減少したことによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、112億64百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて14.8%増加し、94億71百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べて2億68百万円減少し、41億95百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動の結果減少した資金は5億22百万円（前年同期は3億36百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益13億38百万円、減価償却費2億56百万円等の増加要因と、売上債権の増加9億49百万円、たな卸資産の増加2億11百万円、法人税等の支払8億61百万円等の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動の結果減少した資金は、8億2百万円（前年同期は2億17百万円の減少）となりました。これは主に定期預金の純増1億71百万円及び有形固定資産の取得による支出5億85百万円等の減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果増加した資金は10億60百万円（前年同期は1億71百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の純増10億円の増加要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループの主な収益の源泉として最重要市場であるニュージーランドの経済は、移民の流入増加や民間消費の堅調さ、低水準の政策金利等の影響を背景に、これまで底堅く推移してきました。今後も現状の基本政策の大幅な変更はないと見込まれるなか、引き続き移民数の安定的な拡大やそれに伴う人口成長率の緩やかな拡大により、実質国内総生産（GDP）も緩やかに成長が続くものと予想しております。

上記の順調な経済成長に伴い、先行して拡大してきた同国中古車輸入市場も、「カメムシ問題」の影響等の一時的な変動要因が想定されるものの、2019年3月期は、当期の業績を若干上回る程度の水準を維持するものと想定しております。

また、ニュージーランドドルの対日本円為替相場につきましては、米国政策金利の上昇圧力により、やや弱含む局面が想定されます。その一方、上記の安定的な経済成長が底支えすることもあり、1ニュージーランドドル=75円と現状より若干の円高ニュージーランドドル安を想定しております。

以上により、2019年3月期通期の業績につきましては、売上高291億69百万円（前期比11.6%増）、営業利益15億88百万円（前期比31.2%増）、経常利益16億10百万円（前期比21.1%増）、親会社株主に属する当期純利益10億28百万円（前期比13.1%増）を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後における国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,510,427	4,414,220
売掛金	7,242,031	8,102,279
たな卸資産	2,179,463	2,364,550
繰延税金資産	135,994	190,258
その他	1,367,124	1,540,707
貸倒引当金	△141,306	△104,415
流動資産合計	15,293,735	16,507,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,113,623	1,123,470
機械装置及び運搬具（純額）	339,666	868,366
土地	1,534,248	1,566,906
その他（純額）	126,203	185,265
有形固定資産合計	3,113,741	3,744,009
無形固定資産	84,936	90,271
投資その他の資産		
繰延税金資産	124,923	123,288
その他	294,606	338,826
貸倒引当金	△21,866	△67,958
投資その他の資産合計	397,663	394,156
固定資産合計	3,596,342	4,228,437
資産合計	18,890,077	20,736,038

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	323,093	367,394
短期借入金	6,300,000	7,910,480
1年内償還予定の社債	53,400	53,400
1年内返済予定の長期借入金	295,068	1,128,252
未払法人税等	397,254	118,583
賞与引当金	73,493	75,004
繰延税金負債	3,288	722
その他	787,663	1,050,070
流動負債合計	8,233,261	10,703,908
固定負債		
社債	185,900	132,500
長期借入金	1,903,316	90,538
繰延税金負債	171,877	197,146
退職給付に係る負債	125,810	131,450
その他	21,025	8,600
固定負債合計	2,407,930	560,235
負債合計	10,641,191	11,264,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	157,829	383,104
資本剰余金	1,601,188	1,826,462
利益剰余金	7,080,502	7,990,266
自己株式	—	△80
株主資本合計	8,839,520	10,199,752
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△590,634	△727,858
その他の包括利益累計額合計	△590,634	△727,858
純資産合計	8,248,885	9,471,894
負債純資産合計	18,890,077	20,736,038

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上高	27,092,505	26,132,926
売上原価	21,054,634	20,392,342
売上総利益	6,037,871	5,740,584
販売費及び一般管理費	4,461,055	4,529,713
営業利益	1,576,815	1,210,870
営業外収益		
受取利息	78,507	77,837
為替差益	435,134	103,439
持分法による投資利益	13,766	11,633
その他	93,949	108,383
営業外収益合計	621,358	301,294
営業外費用		
支払利息	161,582	141,632
貸倒引当金繰入額	73,078	—
株式公開費用	—	16,000
その他	18,538	24,338
営業外費用合計	253,199	181,971
経常利益	1,944,974	1,330,193
特別利益		
固定資産売却益	67,612	946
関係会社清算益	23,659	7,231
特別利益合計	91,272	8,177
特別損失		
減損損失	91,117	—
その他	6,635	—
特別損失合計	97,752	—
税金等調整前当期純利益	1,938,494	1,338,371
法人税、住民税及び事業税	620,482	458,503
法人税等調整額	△49,152	△29,895
法人税等合計	571,330	428,607
当期純利益	1,367,163	909,763
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△369	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,367,532	909,763

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
当期純利益	1,367,163	909,763
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△213,405	△136,759
持分法適用会社に対する持分相当額	342	△464
その他の包括利益合計	△213,063	△137,223
包括利益	1,154,100	772,540
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,155,586	772,540
非支配株主に係る包括利益	△1,486	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	157,829	1,601,188	5,712,969	7,471,987
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			1,367,532	1,367,532
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	1,367,532	1,367,532
当期末残高	157,829	1,601,188	7,080,502	8,839,520

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△378,688	△378,688	26,762	7,120,061
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				1,367,532
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△211,946	△211,946	△26,762	△238,708
当期変動額合計	△211,946	△211,946	△26,762	1,128,824
当期末残高	△590,634	△590,634	—	8,248,885

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	157,829	1,601,188	7,080,502	—	8,839,520
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			909,763		909,763
新株の発行	225,274	225,274			450,549
自己株式の取得				△80	△80
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	225,274	225,274	909,763	△80	1,360,232
当期末残高	383,104	1,826,462	7,990,266	△80	10,199,752

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△590,634	△590,634	8,248,885
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			909,763
新株の発行			450,549
自己株式の取得			△80
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△137,223	△137,223	△137,223
当期変動額合計	△137,223	△137,223	1,223,008
当期末残高	△727,858	△727,858	9,471,894

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,938,494	1,338,371
減価償却費	190,726	256,844
減損損失	91,117	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	96,309	13,740
受取利息及び受取配当金	△79,487	△87,533
支払利息	161,582	141,632
為替差損益 (△は益)	△380,098	△3,955
持分法による投資損益 (△は益)	△13,766	△11,633
固定資産除売却損益 (△は益)	△61,122	△946
関係会社清算損益 (△は益)	△23,513	△7,231
売上債権の増減額 (△は増加)	△688,414	△949,728
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△406,251	△211,054
仕入債務の増減額 (△は減少)	△193,605	47,868
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	134,830	△114,467
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	151,713	224,407
その他	△109,134	△263,141
小計	809,377	373,172
利息及び配当金の受取額	88,560	97,488
利息の支払額	△165,843	△131,515
法人税等の支払額	△395,348	△861,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	336,746	△522,719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△35,591	△171,941
有形固定資産の取得による支出	△472,396	△585,651
有形固定資産の売却による収入	204,077	4,644
無形固定資産の取得による支出	△12,041	△46,739
関係会社の清算による収入	119,672	7,231
貸付けによる支出	△24,178	△4,754
貸付金の回収による収入	13,878	1,751
その他	△10,934	△7,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217,513	△802,670
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	64,247	1,000,000
長期借入れによる収入	642,999	504,986
長期借入金の返済による支出	△480,016	△840,830
社債の償還による支出	△53,400	△53,400
株式の発行による収入	—	450,549
非支配株主への配当金の支払額	△1,972	—
その他	—	△427
財務活動によるキャッシュ・フロー	171,856	1,060,877
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63,943	△3,678
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	227,146	△268,190
現金及び現金同等物の期首残高	4,236,048	4,463,194
現金及び現金同等物の期末残高	4,463,194	4,195,004

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各事業におけるバリューチェーンでの位置付けと、主たる担当業界を基礎として報告セグメントを区分しております。

すなわち、バリューチェーンの川上に位置する「貿易」セグメント、次の段階にポジションを置く「物流」セグメント、「サービス」セグメント及び「検査」セグメントの4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	貿易	物流	サービス	検査	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,835,668	4,276,662	3,698,712	3,281,462	27,092,505	—	27,092,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,498,201	432,445	48,141	682,373	2,661,162	1,337,477	3,998,640
計	17,333,869	4,709,108	3,746,853	3,963,836	29,753,668	1,337,477	31,091,146
セグメント利益又は損失(△)	379,080	792,098	△62,095	626,442	1,735,525	279,295	2,014,820
セグメント資産	8,816,666	1,278,227	5,875,055	2,881,374	18,851,324	13,554,597	32,405,921
その他の項目							
減価償却費	32,500	3,020	62,661	72,459	170,642	20,084	190,726
持分法適用会社への投資額	—	—	14,896	—	14,896	△14,896	—
のれんの償却額	—	—	—	5,986	5,986	—	5,986
有形固定資産の増加額	15,707	15,544	386,774	45,775	463,801	13,552	477,354

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない純粋持株会社である提出会社のものであります。

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	貿易	物流	サービス	検査	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,671,971	3,518,016	4,684,644	3,258,294	26,132,926	—	26,132,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,262,920	563,337	59,128	633,423	3,518,809	1,251,623	4,770,433
計	16,934,891	4,081,353	4,743,773	3,891,717	29,651,736	1,251,623	30,903,359
セグメント利益又は損失(△)	87,803	611,535	35,554	574,480	1,309,375	147,392	1,456,767
セグメント資産	9,455,774	1,340,328	7,752,603	2,974,726	21,523,433	14,504,655	36,028,088
その他の項目							
減価償却費	28,799	6,199	133,390	67,195	235,584	21,259	256,844
持分法適用会社への投資額	—	—	11,001	—	11,001	△11,001	—
のれんの償却額	—	—	—	6,175	6,175	—	6,175
有形固定資産の増加額	19,226	9,405	435,880	91,197	555,709	29,942	585,651

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない純粋持株会社である提出会社のものです。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）
（単位：千円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	29,753,668	29,651,736
「その他」の区分の売上	1,337,477	1,251,623
セグメント間取引消去	△3,998,640	△4,770,433
連結財務諸表の売上高	27,092,505	26,132,926

（単位：千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,735,525	1,309,375
「その他」の区分の利益	279,295	147,392
調整額（注）	△438,005	△245,896
連結財務諸表の営業利益	1,576,815	1,210,870

(注) 調整額の内容は、主にセグメント間取引消去のものです。

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	18,851,324	21,523,433
「その他」の区分の資産	13,554,597	14,504,655
調整額（注）	△13,515,844	△15,292,050
連結財務諸表の資産合計	18,890,077	20,736,038

(注) 調整額の内容は、主にセグメント間取引消去のものです。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	170,642	235,584	20,084	21,259	—	—	190,726	256,844
持分法適用会社への投資額	14,896	11,001	△14,896	△11,001	—	—	—	—

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
1株当たり純資産額	1,642.38円	1,789.48円
1株当たり当期純利益	272.28円	178.58円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	174.66円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
2. 当社は、2017年6月30日開催の当社取締役会決議に基づき、2017年7月25日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,367,532	909,763
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,367,532	909,763
普通株式の期中平均株式数(株)	5,022,525	5,094,433
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	114,439
(うち新株予約権(株))	(—)	(114,439)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類 (新株予約権の数79,394個)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。